

開催日 平成24年10月23日  
会場 朝比奈公民館  
参加人数 15人

# 朝比奈地区



**質問** 横舟川上流の砂防ダムに土砂が溜まっている。災害時に土石流が心配であるため、下流の横舟川の安全対策を早期に県へ要望してほしい。

**回答** 県事業になるので、市の要望を付けて県へ提出する。県議会議員にも相談して、至急対応する。

**質問** 市立病院で内科を受診する際に、開業医の紹介状が必要であることや、内科病棟も2床に限定されたことを心配している。医師確保は難しいかもしれないが、市は、どのような対策をとっているか。

**回答** 菊川病院との連携を模索しており、菊川市長と菊川病院長へ話しているところである。また、磐田病院も浜松医大の協力で医師の確保に努めているため、磐田市長にも協力を要請している。

**質問** 医学生に奨学金を出したり、ある程度専門的な科を充実させたりすればどうか。

**回答** 現状においても、医師及び看護師の奨学金制度はある。引き続き浜松医大にも交渉して医師に来てもらうよう努力する。今後は、地域医療を志す子ども

たちの教育も含めて、もっと応援していかなくてはいけない。

**質問** 現行の消防署が老朽化しているなければ、財政が厳しいので、やめれば良いと思う。牧之原市との消防分離にも費用負担が発生すると思う。もっと広域で考えた方が良いのではないか。

**回答** 当初、牧之原市との分離は考えていなかったが、牧之原市が静岡消防と一緒にやっているということと分離した。そうした中で新消防署建設については、人口の多い池新田地区に持つてくるべきという考えで、鈴木鉄工の跡地を購入した。

**質問** 今まで旧3町で進めてきたゴミ処理や火葬場業務などについて、今後の見通しを聞きたい。

**回答** 学校組合については、県からも組合立は難しいと言われている。今後、学校関係者、保護者、教育委員会などと相談して枠組みを決めていきたい。今の段階では、検討委員会を作る方向で進めている。ゴミ処理場については、ゴミの集積場を作って、そこから市外の余裕のある自治体に処分をお願いすることも考えている。

火葬場については、設置場所の問題がある。牧之原市ともしっかりと協議して、円満に解決していきたい。

**質問** 朝比奈原町内会は災害に最も弱く孤立する。市は今後どのようにお考えか。

原のグラウンドが自主防本部になっているが、雨風をしのげないため、朝比奈原公民館へ移動したらどうかと相談している。防災倉庫を作ったり移動したりすると経費がかかる為、市から援助していただけないか。

**回答** 今あるものを有効利用し、可能であれば移動すればどうか。防災倉庫のようなものが必要なら市で買うことも考える。手薄なところから整備させてもらう。

**質問** 津波高や浸水域が市民に伝わっていない。県のホームページを利用し、市内の浸水域や津波高を公表してほしい。また、防災訓練は、浸水域と津波高のどちらを想定して行うのか。

**回答** 県の第4次被害想定が出ているのを見極めてから実施していきたい。訓練については、津波高でなく浸水域でやっていくべきと考える。

